

目標の進捗状況報告書

(2013年度・大学)

担当部局は ☆印の箇所を記入してください。

I. 評価項目・要素と担当部局

本シートでの自己点検・評価を行う部局と項目・要素は次のとおりである。

対象部局	言語コミュニケーション文化研究科
大項目	4 教育研究組織 (研究科)
中項目	
小項目	4.0.1 大学の学部・学科・研究科・専攻および附置研究所・センター等の教育研究組織は、理念・目的に照らして適切なものであるか。
要素	教育研究組織の編制原理 理念・目的との適合性 学術の進展や社会の要請との適合性 (KGI) 研究活動の状況
小項目	4.0.2 教育研究組織の適切性について、定期的に検証を行っているか。
要素	

II. 目標の進捗状況評価と進捗状況報告(2013.4.30現在の進捗状況報告)

《進捗状況評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の自己評価を行っている。進捗状況評価はA、B、C、Dの4段階とし、2013年4月30日現在における目標の達成度評価(2013年度の達成に対してどこまで進んだかの評価)を行った。A、B、C、D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗状況評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 研究科の教育研究内容と社会のニーズとの関係について定期的に検証する体制を作る。	→検証体制の確立・実施。	A	A	A	A	
2. 教員の研究成果を社会に公表し、活動内容の認知を推進する。	→教員の研究成果公表。紀要への論文執筆者数。学会発表数。シンポジウム、講演会の開催数。	B	B	A	A	
					☆	
2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2009	2010	2011	2012	2013
	→					
	→					

《進捗状況》 ☆

目標の進捗状況について次のとおり簡単に説明する。

目標1	月1回の研究科の執行部会、年6回程度開催しているカリキュラム委員会およびその委員会のもとに組織された言語文化領域ワーキンググループにおいて、研究科の開講科目と社会のニーズへの対応について検討を実施している。
目標2	研究科の教員は各学部および教職教育研究センターに属する外国語担当教員計42名から成り、4つの研究領域(言語科学、言語文化学、言語教育学、日本語教育学)のうちの1～3つの領域に属し、極めて活発な研究活動を行っている。昨年度本研究科が開催・後援した講演会は6月と2月にそれぞれ1回ずつ行われた。それ以外に、2012年9月には、北京第二外国語学院から日本語教育専攻の学生19人・教員9人が2週間にわたって来日しセミナーを開催したほか、2013年3月には北京第二外国語学院において国際フォーラム(日本語および英語)を開催し教員2名と院生8名が参加した。
備考	